特集1　豊川市・キュパティーノ市　姉妹都市提携35周年

# つながる交流

豊川市は、昭和53年にアメリカ合衆国カリフォルニア州キュパティーノ市と姉妹都市提携を結び、今年で35周年を迎えます。

今回の特集では、本年度の交流活動を中心に、キュパティーノ市との交流を紹介します。

詳しいことは、市民協働国際課（89－2158）へ、お問い合わせください。

## 交流のはじまり

昭和五十二年、豊川市が優良自治体として自治大臣表彰を受けたことを知ったキュパティーノ市長から、姉妹都市を希望する内容の書簡が豊川市に届きました。

この書簡がきっかけとなり、昭和五十三年十二月十九日、キュパティーノ市を代表して、市議会議長のダニエル・P・オキーフさんが豊川市を訪れ、姉妹都市提携宣言書に調印しました。

宣言書には、教育、文化、産業、経済あらゆる面における交流を図り、両市民間の絆を一層強くするよう努力することが記載されています。ここから豊川市とキュパティーノ市との三十五年にわたる交流が始まりました。

## キュパティーノ市とは

### 位置・気候

アメリカ合衆国カリフォルニア州にあり、サンフランシスコ市の南方約70㎞にある都市です。気候は温暖で、緑が豊かなまちです。

### IT産業が盛んな都市

シリコンバレーの中心部にあり、iPhoneで世界的に有名なアップルの本社などがあります。

### 教育水準が高い都市

重要な教育施設の一つとしてディアンザ州立大学があります。この大学は市民にとっても重要な教育の場となっています。

# 提携二十五周年目の交流

姉妹都市提携三十五周年目を迎える豊川市とキュパティーノ市との交流。現在は、どのような交流が行われているのか、今年の取り組みを交えて紹介します。

## 両市のつながりを深める相互派遣

豊川市とキュパティーノ市は、友好の証として五年の節目ごとに姉妹都市提携記念事業を行っています。その一つに、市民使節団の相互派遣があります。この相互派遣はこれまで三百人を超える人々が関わり、続けてきた事業です。

今年は、公募による二十二人の使節団員がキュパティーノ市を訪れました。現地では、キュパティーノ市による歓迎会に出席したり、市内見学やイベントへ参加したりしました。また、ホームステイ先では、ホストファミリーとの楽しい時間を過ごし、市民レベルでの交流を深めました。

この市民使節団の相互派遣では、訪問する際に記念品を贈っており、昭和五十八年にキュパティーノ市へ贈ったサクラの苗木は、メモリアルパークで大きく育っています。また、昭和六十三年にキュパティーノ市から贈られたシンボルタワーの複製は、総合体育館前のキュパティーノ広場で見ることができます。

今年は、日本の文化を知ってもらおうと、御油宿や赤坂宿が描かれた浮世絵版画を贈りました。受け取ったマホーニー市長は、この地域に古い歴史があることに感心していました。

1キュパティーノ市へ浮世絵版画を贈呈2豊川市旗を持つマホーニー市長3キュパティーノ市内の公園で歓迎を受ける使節団4アップル本社での見学

交流が生んだエピソード

## 東日本大震災を乗り越えて届く思い

東日本大震災が起こった平成二十三年は、キュパティーノ市からの中学生使節団の派遣が中止となりました。

その年の七月、キュパティーノ市から義援金の目録が届きました。これは、メモリアルパークで行われた「さくらまつり」やキュパティーノ市内の小・中学校などで集められた義援金でした。また、十月には額に収められた千羽鶴も贈られました。

これらは、両市の交流事業に関わった人々が中心となって自主的に行われたものです。千羽鶴は豊川市を訪れることが叶わなかった中学生たちによって、復興の祈りを込めて折られたものでした。

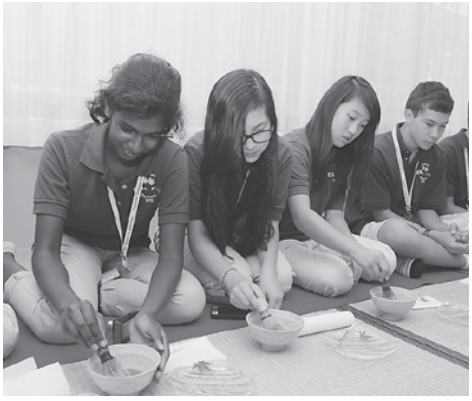
## 次世代の友情を育む 中学生使節団

毎年活発に行われている交流として、中学生使節団の派遣があります。この派遣は、「二十一世紀を担う国際感覚豊かな人材を育成する」ことを目的に行っています。豊川市からは昭和五十四年、キュパティーノ市からは昭和五十九年に派遣が始まりました。

今年も、六月にキュパティーノ市中学生使節団が豊川市を訪れ、施設見学をしたり、中学校で日本の授業や文化を学んだりしました。アメリカには部活動という文化がないため、使節団員は一人一人が関心のある部活動へ参加し、目を輝かせていました。

また、歓迎会では同じテーブルについた者同士が、身振り手振りを交えながら会話を楽しむなどの貴重な体験ができました。

一方、豊川市中学生使節団は、夏休み期間中の研修会で文化や英語などを学び、九月にキュパティーノ市を訪問しました。豊川市を訪れた使節団員にも再会を果たし、友情をさらに深めました。


小坂井中学校で茶道体験をする使節団員

インタビュー

### 中学生使節団と今の私

高校教員
森島美智子さん

当時はまだ、中学生が外国を訪れることなどほとんど考えられない時代で、幼い頃から海外に強い興味があった私にとって、「中学生使節団」としての訪問は、夢のような10日間でした。キュパティーノと聞いて今も思い浮かぶのは、澄んだ空気と、現地の方の温かい笑顔と出迎えです。それからの片道1週間かかる手紙のやりとりも楽しかったですし、大学時代再びアメリカを訪れ再会できた時は、この町と人が私はやっぱり好きだな、と強く感じました。

現在は高校教員として、英語を通して外国の人と触れ合う楽しさを教えています。昨年度には通訳としてキュパティーノ市中学生使節団に接する機会もありました。中学生の頃は、会話がうまく通じず、伝わる英語を話したい、もっと深い話をしたいという思いが強くありましたが、こうやってまた使節団と交流できたことは、私にとってずっとつながっている縁のように感じました。これからも多くの人に交流の楽しさを通して、世界を広げていってほしいと思います。

## 交流の輪をつなげる

三十五年前の書簡がきっかけとなり、市民使節団や中学生使節団の相互派遣が始まりました。近年では、姉妹都市について広く知ってもらおうと、キュパティーノ市の小・中学生の作品展も行われています。

市では、こうした交流を通して、より多くの市民がキュパティーノ市に関心を持ち、異なる文化や生活習慣を互いに理解し合うようにサポートします。そして、キュパティーノ市との交流が四十周年、五十周年とつながっていくよう努めていきたいと考えています。

イベントニュース

## キュパティーノ市市民使節団歓迎会

キュパティーノ市市民使節団歓迎会に参加を希望する方を三十人程度募集します。

**日時** 十一月十一日（月）午後六時から▼**会場** 市民プラザ（プリオⅡ四階）▼**会費** 四千円。ただし、未成年者は三千円で保護者同伴▼**申し込み** 十一月六日（水）まで、先着順に受け付け。電話で、市民協働国際課へ

豊川市国際交流協会主催

## 姉妹都市提携三十五周年記念パネル展

十一月十二日正午から十六日午後五時まで、勤労福祉会館一階ロビーで三十五年の交流を写真で振り返る姉妹都市提携三十五周年記念パネル展を行います。

特集2

# 町内会活動に参加してみませんか

市内には186もの町内会があります。町内会は、住民同士による、生活に密接に関わる活動を行う団体です。その役割は地域の安全・安心を守ること、住環境を美化・維持すること、地域福祉を充実させること、住民同士の親睦を深めることなどさまざまです。

今回の特集では、町内会の活動と私たちの日々の生活との関わりについて紹介します。

詳しいことは、市民協働国際課（89－2165）へ、お問い合わせください。

## 暮らしと身近な活動

町内会は、まちという小さな単位で行われている活動だからこそ、私たちの暮らしに密接に関わっています。ここでは、町内会の活動を身近な事例を通して紹介します。

帰り道を明るく照らす防犯灯は町内会によって設置・維持管理されています。危険な場所を見つけ出し、地域の意見を取りまとめながら、設置場所を決定しています。

また、防犯灯の電球を交換するのも、維持管理をしている町内会の活動です。

町内会では、地域の子どもが楽しむスポーツ大会や祭りなどのイベントを行っています。子ども同士の学年を越えた地域の交流にもつながっています。

また、子どもの安全のために通学路の見守り活動なども行われています。

町内会では、災害時や緊急時などの備えとして、避難誘導など防災訓練を行っています。

また、支援が必要な方の把握を行うために、災害時要援護者支援制度を活用するなど、有事の際に地域の支え合いができるような取り組みを行っています。

ごみステーションの維持管理も町内会が行っています。収集日にごみの出し方を指導したり、カラスに荒らされないようネットを張ったり、町内会ごとに工夫をしています。

住民の協力によって、町内の美しい生活環境は保たれています。

# 写真で見る町内会の活動

福祉サロンと子ども会が合同で行う催しなどは世代間交流の機会になります。

清掃の日は、子どもからお年寄りまでみんなでまちをきれいにします。

カローリング大会などスポーツを通して地域の人との親睦を深めます。

防災訓練では担架を作って人を運んだり、初期消火訓練をしたりします。

見守り隊のボランティアの方が毎日交通安全のために通学路に立ってくれます。

地域のお祭りでは、法被を羽織って普段と違う雰囲気を楽しみます。

## できることから始めてみませんか

住環境の整備や防犯・防災、地域福祉など、町内会は私たちの最も身近な所で住みよいまちづくりを担っています。そして、町内会の活動は、必ずどこかであなたの生活に密接に関わり、役立っています。

町内会の活動はすべて、地域に住んでいる皆さんの協力によって支えられています。また、誰でも参加することができる活動です。自分の住んでいる地域をより過ごしやすいまちにするために、町内会の活動に参加してみませんか。

まずは地域で開催されるイベントに参加するなど、近所の方と知り合うことから始めてみましょう。そして、町内会が身近な存在になれば、その他の活動に参加する機会も増えるのではないでしょうか。さあ、自分のできることから町内会活動を始めてみましょう。

町内会への加入を希望する方は、自分が住む地域の町内会長にご連絡下さい。なお、町内会長が分からない場合は市民協働国際課へ、お問い合わせ下さい。